

おかざき

議会だより

令和6年5月1日発行

vol.

222

2024

3月
定例会

- P02 代表質問
- P07 主な議案
- P09 委員会審査
- P11 討論
- P12 審議結果
- P14 委員会調査報告
- P16 6月定例会予定 他

更に詳しい情報は
岡崎市議会HPへ



(表紙写真の説明は裏表紙をご覧ください)

代表質問

3月定例会では、市政の課題や重要事項などについて会派の代表者による質問を行いました。
なお、本紙では、太字の質問項目から掲載しています。より詳しい内容や他の項目については、市議会HPで公開している議会映像をご覧ください。

代表質問の掲載原稿は、発言に基づき質問議員が作成しています。

自民清風会

- ・令和6年度当初予算編成
- ・推計人口
- ・暮らしを支える都市づくり

- ・暮らしを守る強靱な都市づくり
- ・持続可能な循環型の都市づくり
- ・多様な主体が協働・活躍できる社会づくり
- ・健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり
- ・女性や子どもがいきいきと輝ける社会づくり

誰もが学び活躍できる社会づくり

- ・商業と観光が成長産業となる地域経済づくり
- ・ものづくりが柱でありつづける地域経済づくり
- ・スマートでスリムな行政運営の確立

民政クラブ

市長の政治姿勢

- ・予算編成

第7次総合計画

チャレンジ岡崎

大規模災害

- ・予算編成

第7次総合計画

公明党

令和6年度当初予算

- ・暮らしを支える都市づくり
- ・暮らしを守る強靱な都市づくり
- ・持続可能な循環型の都市づくり
- ・多様な主体が協働・活躍できる社会づくり
- ・健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり
- ・女性や子どもがいきいきと輝ける社会づくり

- ・誰もが学び活躍できる社会づくり
- ・商業と観光が成長産業となる地域経済づくり
- ・ものづくりが柱でありつづける地域経済づくり
- ・スマートでスリムな行政運営の確立

- ・誰もが学び活躍できる社会づくり
- ・商業と観光が成長産業となる地域経済づくり
- ・ものづくりが柱でありつづける地域経済づくり
- ・スマートでスリムな行政運営の確立



代表質問とは

- ・会派を代表して行う質問のことです。
- ・岡崎市議会では、予算の審議や条例案などが多い3月定例会で代表質問を採用しています。



自民清風会

中根 武彦

地域公共交通計画

問 計画期間の終期に当たる令和8年度の成果目標である鉄道・バス・タクシーの公共交通利用者数の回復に向けて、今後どのような取り組みを行っていくのか。

答 既存の公共交通である鉄道・バス・タクシーと、新たな地域内交通である乗合タクシーなどで構成する公共交通ネットワークの充実を図る。また、利用促進として、5年度も実施した愛環フォトコンテストや名鉄バスの高齢者フリーパスの購入補助等の事業を継続していく。そのほか、利便性向上の取り組みとして、名古屋鉄道と愛知環状鉄道道の乗換駅である中岡崎駅のバリアフリー化の実現に向けた整備の手法と内容の検討を行う。



おかざきこども会議

問 本市では、生徒市議会など若者の意見を施策に反映する仕組みがあるが、新たに子どもの意見を聴く機会や取り組みは。

答 6年度から子どもの意見を反映するため、「おかざきこども会議」を開催する。小学5年生から高校3年生の世代を対象に約30人を募集し、グループワークを中心とした意見交換を行う会議を、6回程度開催する予定である。そこで出された意見は、「みんなの声で作る！おかざきこそだて会議」で発表することを想定しており、同会議に参加した子育て世代に発信できると考えている。また、市の施策に関する意見は関係各課と共有し、施策に反映できるか検討していく。「おかざきこども会議」の開催を通じて、子どもが意見表明しやすい環境づくりに取り組んでいく。



小中学校屋内運動場への空調機設置

問 異常に暑い夏が常態化する中、屋内運動場への空調機設置は早急に着手すべきと考えるが、本市の考えと今後の取り組みは。

答 5年12月末に、市議会4会派から、小中学校の屋内運動場への空調機設置に関する要望書が提出された。厳しい暑さが長期にわたり、授業での運動中止の影響も出てきている。子どもたちがいつでも安全に活動できる教育環境の確保が求められ、屋内運動場への空調機設置の必要性が高まっていることから、早期の設置に取り組んでいきたい。また、学校の屋内運動場は災害時などに地域の避難所として重要な役割を果たすことから、空調機が避難生活を支える重要な設備として有効に活用できると考えている。今後は、6年度に屋内運動場への空調機導入に向けた基礎調査を実施し、7年度中の空調機設置の着手に結び付けたいと考えている。

校内フリースクールF組と夜間学級S組

問 F組設置の成果及び課題と6年度以降の取り組み、またS組の進捗状況は。

答 長期欠席者にとってF組の存在が確かな居場所になっている点と、F組の理念が浸透したことで中学校の長期欠席者の出現率が抑制された点が成果である。一方、課題として2点挙げられる。1点目は、小学校の長期欠席者の増加である。対策として、6年度は小学校の大規模校を中心にF組を3校設置する予定であり、F組の理念を小学校にも浸透させ、長期欠席者の出現率の抑制を図っていきたい。2点目は、家に閉じこもって学校に來られない生徒が、一定程度存在していることである。そうした生徒への支援策として、6年度は、週に1度、夕方以降の時間に通う夜間学級S組を中学校5校に設置する予定である。子どもを誰一人取り残さないことを目指して取り組んでいく。



民政クラブ

加藤 学

将来につながる

まちづくり

問 これからのまちづくりに対する本市の思いや考えは。

答 ハード面では、交通結節点のポテンシャルを生かした周辺エリアのまちづくりとして、岡崎東インターチェンジ周辺のまちづくりを始め、(仮称)岡崎阿知和スマートインターチェンジ周辺の^{*}アグリパーク構想、東岡崎駅再整備と連携した周辺エリアのまちづくりに取り組んでいく。また、岩津地域の拠点整備、QURUWA地区内の優良建築物等整備事業なども推進する。ソフト面では、もっと家康公²どまんなかプロジェクト「子宝・健康長寿」「歴史まちづくり」「岡崎愛・経済好循環」「循環まちづくり」の四つの価値観に基づき、まちづくりに取り組んでいく。



東岡崎駅周辺の

まちづくり

問 東岡崎駅周辺エリアの令和6年度の取り組みは。

答 同エリアを多世代がつながる居場所と来街者に対するおもてなしの玄関口とし、「駅周辺の自治会を中心とした暮らしを再生するコミュニティ」や「駅と乙川、駅と六所神社をスムーズにつなぐ歩行者動線や滞在空間」等を将来像に掲げ、エリア全体のあるべき姿をこれまで検討してきた。6年度はこのエリアビジョン実現のため、新たに駅北西の街区において機運醸成を図っていききたい。また、北口中央街区では、地権者を中心に検討されているまちづくり構想案の動きと連動し、本市も北口中央街区のビジョンを策定し、駅前のまちづくりの中核を担う場所として、駅から乙川への魅力的な眺望や景観を生み出し、心地よく滞在や回遊を促す公共空間を確保できるよう、駅周辺のまちづくりを推進していきたい。

確実な進捗が望まれる

雨水対策

問 市内の河川の整備計画は。

答 国が管理する矢作川では、佐々木・八帖・岩津の各地区

で、堤防の整備や強化が進められている。また、矢作橋から日名橋までの右岸側でも、堤防整備の計画があるほか、河道掘削や樹木伐開を継続的に行っていくと聞いている。県が管理する河川では、乙川で整備計画に基づく改修を行うほか、六斗目川合流点付近では再度災害防止のため河道掘削を先行実施する予定と聞いている。砂川では、JR東海道線の交差部の整備や下流の橋梁架け替え工事を行っていく。市管理の六斗目川では、市道美合不吹線から上流の六合橋までの区間の整備に着手する予定である。また、北本郷支川では、本線との合流点から上流約420mまでの区間で7年度から改修工事に着手できるよう調整を進めている。赤池支川でも、早期に着手できるように努めていく。

町内会活動への

デジタル支援

問 5年度に進めた支援の評価と6年度の新たな取り組みは。

答 5年度は、町内会活動の担い手不足の対応として、役員の負担軽減を目指し、町内会活動支援アプリを4地区5町内会で試験導入した。これにより、回覧板の電子化、行事の出欠確認などをスマートフォンで行うことができ

るようになるなど、各町内会では導入に関する様々な工夫が前向きに議論され、活発に利用されていると把握している。6年度は、本事業に挑戦する町内会を更に20町程度募り、取り組みを拡大していくこととし、多くの町内会が興味を持ち、前向きに取り組めるよう、市政だよりや新聞各社からの取材等を通じて、積極的に事業をPRしている。また、6年度の防災訓練で、本アプリを活用した安否確認や被災状況の集約を、一部のモデル地区で試験的に行うことも検討している。

^{*}アグリパーク：体験型の農業公園



チャレンジ岡崎

近藤 敏浩

大規模災害における

自治体の支援

問 大規模災害における支援への考え方及び支援を実施する意義は。

答 支援では、人命救助、被災者支援の必要性が優先される。

被災した自治体はちゅうちよなく応援を要請すること、応援を求められた自治体は応じることが災害対策基本法と地方自治法に規定されており、自治体同士が協力し、助け合う仕組みとなっている。支援を実施する意義は、職員が被災地で支援業務に携わること、本市の被災時に必要な対応をイメージでき、その後の防災力向上につながるができる貴重な機会であると同時に、現在本市が進めようとしている施策の検証機会となる点であると考えている。



上下水道管の地震対策

問 水道及び下水道管路の耐震化の進捗状況と令和6年度の取り組みは。

答 水道管路の耐震適合率は4年度末で約43・9%である。

また、更なる耐震化促進等に向けて取り組んでいる口径200^ミ以上の配水管等の管路網を再構築する基幹管路網再構築事業の進捗率は約36・6%である。6年度は、基幹管路再構築工事、老朽管更新工事など、約19^キメートルの管路整備を進める。下水道管路の耐震化率については、重要な幹線等の延長約282^キメートルに対して耐震化率は約51%である。また、全ての下水道管路の総延長約1920^キメートルに対して耐震化率は約30%である。6年度は、国道1号など緊急輸送道路において、管路とマンホールの耐震診断や液状化に対するマンホール浮上対策、管敷設替え工事などを進める予定である。

中山間地域活性化計画

問 中山間地域活性化計画における「オクオカ竹プロジェクト」のこれまでの取り組みと今後の予定は。

答 4年度末に、放置竹林の解消や地域資源の有効活用として、伐採した竹を竹炭パウダーにし、それを添加した飼料を豚に与えたブランド肉「岡崎竹千代ポーク」の販売を開始した。5年度はタケノコとメンマの開発に取り組んでおり、地域住民が収穫したタケノコを、間もなく販売できる見込みである。6年度は引き続き竹林を整備し、適正に管理することにより、地域の所得向上につながる体制の構築を目指していく。また、竹炭を農地の土壌改良材として使用することで、バイオ炭に含まれる炭素の固定化によるCO₂の削減効果もあることから、農業分野での脱炭素化が図られる。今後^{※1}J-クレジットを通じた民間事業者との連携も検討していきたい。

自然科学研究機構

との連携

問 自然科学研究機構との連携の実績と今後期待することは。

答 実績として4点の取り組みを紹介する。1点目は、最先端の科学に触れ、理科教員の授業力を向上させる国研セミナー。2点目は、未来の科学者賞を選出するほか研究内容を紹介した小・中学校理科作品展。3点目は、研究所職員による出前授業。4点目は、SINET^{※2}の利点を生かし、連携する5研究所^{※3}と同時開催で大規模に行ったオンラインセミナーである。今後、本市に位置するとい

う恵まれた環境を生かし、優れた科学者や魅力的な教材と触れ合うことで、科学に興味と関心を持ち、深く追及し、科学を生活に生かすほか、自然科学研究機構が開催する一般公開に足を運ぶなど、教室を離れても、自ら科学に向き合う子どもたちの姿が見られることを期待している。



※1 J-クレジット制度：温室効果ガスの排出削減量や吸収量をクレジットとして国が認証する制度のこと。中小企業・自治体の省エネ・低炭素投資等を促進し、環境と経済の両立を目指すもの。

※2 SINET(サイネット)：国立情報学研究所が構築・運営する情報通信ネットワークのこと。先進的、超高速(100Gbps)、高信頼な利用が可能。

※3 5研究所：国立天文台、核融合科学研究所、基礎生物学研究所、生理学研究所、分子化学研究所



公明党

畑尻 宣長

もっと家康公“ど” まんなかプロジェクト

問 具体的な事業はどのようなものがあるのか。

答 四つの価値観にひもづいた40事業のうち3点紹介する。

1点目は、家康公の功績を尊び、未来へつないでいくことを明文化し、将来にわたって家康公を顕彰するとともに家康公ゆかりの歴史文化遺産の保存や活用を図る（仮称）徳川家康公顕彰条例の制定を目指す。2点目は、「築山の復元及び築山と三河家臣団の屋敷跡をたどるまち歩きデジタルコンテンツ」を制作し、これらの魅力を将来に引き継ぎ、来訪者にもまち歩きの楽しんでもらうことを目指す。3点目は、岡崎城が昭和34年に復興されてから65年が経過していることから、象徴である岡崎城天守の在り方について、市民の意見をしっかりと聴きながら検討を始める。

市民病院の施設設備

問 市民病院が移転して25年が経過し、建物や付帯設備の老朽化が目につくが、現在の整備状況や今後の予定は。

答 令和5年度はエレベーターの更新工事や照明器具のLED化等のほか、患者サポートセンターの改修工事や駐車場整備工事を進めている。市民病院は、高度医療を担う地域の中核病院として24時間365日稼働しており、様々な医療設備が備えられている。

設備等の老朽化や医療技術の進歩、医療ニーズの変化に対応するため、計画的に改修を行っているが、大規模な医療設備の機能を止めることは難しく、一般的な建物とは違い、長寿命化は困難である。今後、現在の建物をいつまで使用するか、近隣病院の状況を参考にしながら検討を進め、その時期を踏まえた建物や設備の改修を計画的に実施していく。



保育環境の充実

問 国における「こども未来戦略」の加速化プランに、こども誰でも通園制度や保育所の量の拡大から質の向上に向けた76年ぶりとなる配置基準の改善が盛り込まれたが、本市の取り組みは。

答 本市の保育所と認定こども園では、3年度以降、待機児童が出ており、配置可能な保育士や活用できる施設が不足している。

こども誰でも通園制度の導入内容や時期は、国の試行的事業の検証結果や、制度が具体的に示された時点で検討する。また、国が定める保育士の配置基準は一定の経過措置が設けられているが、保育室の面積を基に、預かることができず子どもの数と必要な職員の確保の難しさを考慮して、適切な利用定員の設定が必要となることから、新規採用職員の増員等と併せ、7年度以降の対応を検討していく。



行政手続きにおける 窓口改革

問 他市では「書かない・待たない・行かない」窓口を目指した窓口改革を行うところがある。本市のこれまでの検討状況と今後の取り組みは。

答 本市では、市民が行う様々な行政手続きの負担軽減やサービス向上を目的に、市役所への来庁が不要となる証明書のコンビニ交付や電子申請などを導入しているほか、時間や場所にとらわれずに納付手続きが可能となる納付書のキャッシュレス決済や電子申請時のオンライン決済の導入、口座振替の申し出をアプリから対応できるように取り組んでいる。また、待ち時間が長いといった課題を解決するため、住所異動の手続き等では、マイナンバーカードなどを読み取ることによって住所や氏名等の記載を省略できたり、アプリの質問に回答していくことで必要な手続きが案内されたりするスマート窓口を導入したいと考えている。

主な議案

本会議で提出された議案の説明を受けました。審議結果は、12・13ページに掲載しています。

条例議案

■職員定数条例の一部改正／上下水道局の組織体制強化、市費負担教員の採用及び消防力の強化等のため、職員の定数の適正化を図る。

■個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正／行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、関連する規定を改めるとともに、個人番号利用事務の範囲並びに庁内連携を行う個人番号利用事務及び特定個人情報情報の範囲を見直す。

■犯罪被害者等支援条例の制定／犯罪及びこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす行為の被害者並びにその家族又は遺族（以下「犯罪被害者等」という）の権

利利益の保護及び受けた被害の軽減又は回復を図るため、犯罪被害者等の支援に関し、基本理念、基本となる事項等を定める。

■障がい者コミュニケーション条例の制定／障がいの有無によって分け隔てられることなく、共生することのできる地域社会を実現するため、障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段の理解及び利用の促進に関し、基本理念、施策の基本となる事項等を定める。

■介護保険条例の一部改正／介護保険法施行令の一部改正及び令和6年度から8年度までの介護保険事業計画の策定に伴い、介護保険の保険料の額等を定める。

■国民健康保険条例の一部改正／国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、保険料の後期高齢者支援金等賦課限度額を引き上げるとともに、保険料の軽減対象を拡大し、保険料賦課の適正化等を図る。

■子ども・子育て会議条例の一部改正／子ども・子育て会議にお

いて、こども計画の策定及び変更に関する事項の調査審議並びにこども施策の推進に関し必要な事務を行うため、当該会議の所掌事務等を改める。

その他議案

■特定事業の契約／南公園整備事業の契約を行う。

■公の施設に係る指定管理者の指定／南公園の指定管理者に岡崎南公園マネジメント株式会社を指定する。

■物品の取得／学校用の物品（小学校教育用教科書及び指導書）の買入れを行う。

予算議案

令和5年度補正予算

一般会計補正予算（第12号）

○総務費／財政調整基金積立金、市税等過誤納金払戻金など約70億1710万円の増

○衛生費／新型コロナウイルス感染症行政検査委託料、新型コロナウイルスワクチン接種事業費など約25億4314万円の減

○土木費／河川改修工事請負費、東岡崎駅周辺地区整備基金積立金など約7億9742万円の増

○教育費／小学校校舎等特別整備工事請負費、中学校校舎等特別整備工事請負費など約21億2415万円の増

一般会計補正予算（第14号）

○農林業費／おかげぎ農産物応援プロジェクト推進事業費負担金に對し約4286万円の増

令和5年度3月補正予算

	補正前	補正額	補正後
一般会計	1,436億4,293万円	62億507万円	1,498億4,800万円
特別会計	726億4,758万円	△24億2,110万円	702億2,648万円
企業会計	622億3,738万円	14億913万円	636億4,651万円
合計	2,785億2,789万円	51億9,310万円	2,837億2,099万円

令和6年度当初予算

令和6年度当初予算は、「こどもまんなか もっと家康 昇龍予算」として「こどもまんなか」に取り組む姿勢を示し、子どもと子育て家庭を支援する環境づくりを充実させるとともに、大河ドラマを機に再認識した「家康公生誕の地」としてのアイデンティティーを未来へつなげていくため、岡崎市民が連綿と続く岡崎の歴史の重みに一層の誇りと愛着を感じられる取り組みとして「もっと家康公」
「こどもまんなかプロジェクト事業」を進めるなど、「家康公生誕の地」を始めとする本市の魅力向上や地域活性化に資する施策に重きを置いている。そのほか、4年目を迎える第7次総合計画に掲げる各施策において、着手済みである工業団地造成事業やアウトレックを核としたまちづくり事業、東岡崎駅第2期整備事業や南公園整備事業に加え、少子高齢化を始めとする基本施策にもしっかりと取り組みながら、ゼロカーボンシティの実現や更なるDXの推進とい

令和6年度当初予算

	予算額	前年度対比
一般会計	1,404億1,000万円	104.6%
特別会計	744億1,069万円	104.4%
企業会計	658億8,228万円	106.8%
合計	2,807億297万円	105.1%

った社会環境の変化にも的確に対応していく予算を計上した。
一般会計は1404億1000万円、特別会計は約744億1069万円、企業会計は約658億8228万円、総額は約2807億297万円となり、5年度当初予算に対して5・1%の増となった。

～議会を傍聴してみませんか～

本会議や委員会は一般に公開されており、受付で住所、氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。また、事前の予約も必要ありません。お気軽にお越しください。

※傍聴席へは、市役所西駐車場などから3階連絡通路を利用し、議会傍聴専用入り口（市役所西庁舎3階）へお越しください。

障がいのある方の傍聴について

- 障がいのある方にも傍聴しやすい環境を整えていますので、ぜひご利用ください。
- ・車椅子スペースの設置
 - ・手話通訳／要約筆記※
 - ・ヒアリングループ（磁気誘導ループ）設置※
 - ・点字資料の提供※

※ご利用に当たっては傍聴予定日の1週間前までにご予約ください。

本会議傍聴時の託児について

本会議傍聴時の託児サービスを実施しています。
傍聴予定日2日前の16時までにご予約ください。



（傍聴に関するお問い合わせ先 議会事務局総務課 ☎23-6382 FAX23-6538）

▶ スマホで議会だより「マチイロ」

ご利用のスマートフォンやタブレット端末にアプリを登録すれば、最新の議会だよりが配信されます。



<登録方法>

左のコードを読み取っていたるか、App Store、Google playから無料アプリ「マチイロ」をダウンロードしてください。

委員会審査

常任委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。主な内容は次のとおりです。

総務企画委員会

犯罪被害者等支援条例の制定

問 犯罪被害者等への支援内容と条例の周知方法は。

答 居住の安定を図るため、市営住宅の一時入居や、警察の一時避難施設宿泊料の補助制度、県営住宅の入居抽選時の優遇等について、関係機関と連携・調整し、住まいの提供に取り組む。更に、精神的な被害の軽減や回復のため、関係機関等と連携し、臨床心理士等の資格を有するカウンセラーへの仲介を実施する。周知方法は、市ホームページなどのほか、支援制度のリーフレットを作成し、市内各所等への配布を予定している。また、支援団体と共同でパネル展も開催する予定である。

福祉病院委員会

障がい者コミュニケーション条例の制定

問 本条例を理念条例とした理由と制定のメリットは。

答 本条例では、障がい者がある分野の活動に参加することや、多様なコミュニケーション手段から、自分自身に合った手段を選択できることを基本とした環境づくりのための施策、また、手話や点字、要約筆記など、障がい者が使用する様々なコミュニケーション手段への理解と利用促進のための施策を実施することとしている。時代が変化しても変わらず、普遍的にそれら施策を推進していきたいとの思いから、理念条例とした。制定により、市役所内のみならず市民及び事業者にも条例の理念や趣旨を広く周知できるとともに、条例の基本的理念を普遍とすることで、長期的な視点で総合的かつ計画的に、施策を推進していけることがメリットである。

文教経済委員会

物品の取得（小学校教師用教科書及び指導書）

問 教師用教科書と指導書を購入する目的と活用方法は。

答 図書等は、教師が授業を行うに当たり、教科書の内容を教材研究する上で必要である。教職員がこれらを基に授業を行うことで、公教育における公平性を担保し、誰一人取り残さない教育が実現され、全ての子どもが一定の学力を培うことができるようにしている。主な活用として、授業前の教材研究で、指導書に記載されている教材の特徴や授業展開案を基に教師が工夫を加え、子どもの実情に合わせた質の高い授業ができるよう準備したり、授業中では、授業の展開等、内容を指導書で確認したりしている。また、教師用デジタル教科書がセットになっており、電子黒板を活用して教科書を提示する等、子どもの理解に資する活用も可能である。

建設環境委員会

特定事業の契約（南公園整備事業）、公の施設に係る指定管理者の指定（南公園）

問 契約の概要及び事業者からの提案内容で評価された点は。

答 本契約は、家族が笑顔になれる公園を目指し、老朽化した公園全体をリニューアルするため、新規設置施設や改修施設の設計と工事、整備後の維持管理運営を含めた20年間の契約である。評価された主な点は、建築物に使用する木材をほぼ100%県産材と市産材で賄うとした提案や、木育を通して子どもの発達を促す提案等である。また、大屋根が設置される多目的広場ゾーンの利活用の提案では、屋根部分の形を、大きな異なる独立した複数の屋根を重ね合わせるなど、県内の公園では見かけない工夫を凝らし、複数のグループが同時に大屋根の下で気兼ねなく空間を利用するような活用シーンが示された点である。

予算決算委員会

総務企画分科会

6年度一般会計予算

総務費

問 スマート窓口システム構築委託料の概要は。

答 市民が窓口で記入する届出書類について、マイナンバーカード等を読み取ることで、住所や氏名等の記載を省略でき、パソコン等を使って質問に答えていくことで、必要な手続きが案内される窓口システムの導入を進めている。導入により書類記入の負担軽減や、関連手続きを案内する機能により、手続き漏れを防止する等の効果が期待できるほか、窓口でのやりとりを簡略化し、対応時間の短縮も可能となる。令和7年2月頃から、転入届などの住民異動届と、それに関連する手続きとして、国民健康保険、医療助成及び児童手当の窓口で導入の予定である。

福祉病院分科会

6年度一般会計予算

民生費

問 成年後見制度推進業務において市民後見人の養成に取り組む理由及び方法は。

答 認知症高齢者など成年後見制度の対象者が増加する一方、親族後見人等が減少し、専門職等による後見の受任件数が増加している。団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年には、本市の認知症有病者数は2万947人と推計され、今後の後見人不足は明らかである。また、高齢化や生活の多様化が進む中で継続的な権利擁護支援を行うためには、市民後見人の養成は急務であり、6年度から事前に説明会を開催した上で、成年後見支援センターと共同で、市民後見人養成講座を実施していく。市民後見人の活動は、責任感と倫理観が求められるため、本市としても継続して支援するなどサポート体制を検討していく。

文教経済分科会

6年度一般会計予算

教育費

問 地域文化広場施設整備業務の概要は。

答 子ども・子育て支援の一環として、天候に左右されず子どもが屋外で遊べるよう、地域文化広場に大屋根空間を設ける。ふれあい広場に隣接するステージ周辺に、新たなランドマークとなる大屋根を設置し、親子で食事・遊び・体験ができる大屋根空間を提供する。屋根の面積は約1千平方メートルで、明るさや温度、雨天時の雨音など、施設の快適性の面から、鉄骨造り、立体トラス構造の膜屋根とする。子どもにとって印象に残る施設のシンボルとするため、市の鳥であるハクセキレイをイメージした形状とし、アート要素も取り入れる。また大屋根空間の地面は、安全性や掃除のしやすさ等からゴムチップ舗装とし、柱の化粧材に市産材のひのきを使用する。

建設環境分科会

6年度一般会計予算

衛生費

問 自然環境調査計画業務の自然環境調査委託料の内容は。

答 自然環境定期観察調査と市民参加型自然環境調査の二つの調査を実施する。前者は、毎年実施の市内の自然環境を保全するための基礎調査で、希少動植物と外来生物の実態調査等である。後者は、6年度から開始予定で、市民がスマートフォンアプリ、バイオームで撮影した位置情報付の写真を投稿することでポイントがたまるなど、ゲーム感覚で自然環境調査を行うことができるほか、撮影した種が同定される。同アプリを市民が利用することで、生き物への興味や自然環境の変化に気づくなど、生物多様性の啓発につながることを期待している。また、調査データを専門家による調査へと発展させ、希少種の指定検討等にも活用することを考えている。

本会議において各委員会審査の委員長報告を受け、各党派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

6年度一般会計予算

自民清風会

「雨水対策や災害対策の強化では、浸水被害軽減のための河川・排水路改修事業など、多くの暮らしを守る事業が予算化された。道路ネットワークを確保するための橋梁耐震化業務、複雑多様化する各種火災に対応するための消防自動車の更新、災害ケースマネジメント、被災地の早急な復興のための防災都市づくり計画の策定など、災害への備えとして必要な事業である。また、本市は『こどもまんなか応援サポーター』宣言をしており、地域子育て支援拠点運営補助業務や小規模保育事業所運営支援業務等の新規事業に加え、おかざきこども会議の開催も計画している。子どもたちのニーズを的確に把握し、その声をまんなかに据え、政

策に反映することで、少子化問題の一助になることを期待する」と意見を述べ、賛成した。

民政クラブ

「本予算では、子どもと子育て家庭を支援する環境づくり、アフターコロナの持続可能な社会に向けての取り組み、『もっと家康公』、まんなかプロジェクト、4年目を迎える第7次総合計画に掲げる各施策において着手済みの計画事業である工業団地造成事業、アウトレットを核としたまちづくり事業、東岡崎駅第2期整備事業や南公園整備事業に加え、少子高齢化を始めとする基本施策に確実に取り組むほか、ゼロカーボンシティの実現や、更なるDXの推進といった社会環境の変化にも的確に対応していくための予算が編成されている。確実に予算を執行し、予定以上の成果を生み出すことを期待する」と意見を述べ、賛成した。

チャレンジ岡崎

「令和6年度は地域脱炭素移行・再エネ推進交付金『重点対策加速

化事業』の採択を受け、住宅用補助メニューの拡充が図られるほか、若年層を対象とした体験型講座などをを行うカーボンニュートラル人材育成支援事業が新たに行われる。ゼロカーボンシティの実現に向け、省エネによるCO₂排出抑制などの環境配慮が日常的に行われるよう行動変容を促していくための啓発事業に期待する」と意見を述べ、賛成した。

公明党

「市立小学校の1・2年生で32人学級が実施されることから、より質の高い教員の確保をお願いする。また、校内フリースクールF組は、市内中学校への設置が完了し、小学校3校にも拡充予定である。今後も、担当者や支援員の資質向上と、F組の理念である『多様性を受け入れる』『適応するのは子どもではなく学校』等の更なる理解の浸透が、多くの教職員に広がるようにされたい」と意見を述べ、賛成した。

無所属・日本共産党岡崎市議団

「6年度は、コロナ禍から日常が

戻りつつあるが、市民の暮らしは、決して楽になっていないわけではない。市民参加型市政の前進、福祉・子育てへの配慮など評価すべき点はあるが、民間委託やPFI、派遣労働者への置き換えなど公共サービスの実質化も進められていることは賛成できない」と意見を述べ、反対した。

無所属・大原昌幸

「海外情勢や円安による物価高など、経済的な先行きが懸念されている。そのような中で、6年10月の改選後から、市議会議員の報酬を一人当たり月額3000円増額することは、市民の理解を得られにくいと考える」と意見を述べ、反対した。

無所属・田口正夫

「消防法違反を繰り返すなど火災等の危険性の高い事業所が全国にあると聞く。市民が安心して事業所等を利用できるよう、全事業所に対して、立入検査を定期的に実施し、違反が是正されるまで、継続した指導をされたい」と意見を述べ、賛成した。

審議結果

3月定例会

件名		採決等の結果	件名		採決等の結果
市長提出議案					
市1	包括外部監査契約	可決(全員)	市31	令和5年度岡崎駅東土地区画整理事業清算金特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
市2	市道路線の認定		市32	令和5年度宮崎財産区特別会計補正予算(第1号)	
市3	特定事業の契約(南公園整備事業)	可決(多数)	市33	令和5年度形埜財産区特別会計補正予算(第1号)	
市4	公の施設に係る指定管理者の指定(南公園)		市34	令和5年度病院事業会計補正予算(第3号)	
市5	物品の取得(小学校教師用教科書及び指導書)	可決(全員)	市35	令和5年度水道事業会計補正予算(第2号)	
市6	手数料条例の一部改正		市36	令和5年度下水道事業会計補正予算(第3号)	可決(多数)
市7	附属機関設置条例の一部改正		市37	令和6年度一般会計予算	
市8	市長等の給料の月額の特例に関する条例の制定		市38	令和6年度阿知和地区工業団地造成事業特別会計予算	可決(全員)
市9	職員定数条例の一部改正	可決(多数)	市39	令和6年度国民健康保険事業特別会計予算	可決(多数)
市10	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正		市40	令和6年度後期高齢者医療特別会計予算	
市11	市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部改正	可決(多数)	市41	令和6年度介護保険特別会計予算	
市12	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決(全員)	市42	令和6年度継続契約集合支払特別会計予算	可決(全員)
市13	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	可決(多数)	市43	令和6年度額田北部診療所特別会計予算	
市14	犯罪被害者等支援条例の制定	可決(全員)	市44	令和6年度こども発達医療センター特別会計予算	
市15	障がい者コミュニケーション条例の制定		市45	令和6年度岡崎駅東土地区画整理事業清算金特別会計予算	
市16	介護保険条例の一部改正	可決(多数)	市46	令和6年度母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	
市17	国民健康保険条例の一部改正		市47	令和6年度宮崎財産区特別会計予算	可決(多数)
市18	子ども・子育て会議条例の一部改正	可決(全員)	市48	令和6年度形埜財産区特別会計予算	
市19	八帖地区計画の区域内における建築物制限条例の一部改正		市49	令和6年度病院事業会計予算	可決(多数)
市20	市営住宅条例の一部改正		市50	令和6年度水道事業会計予算	可決(全員)
市21	消防団員等救慰金条例及び消防団員公務災害補償等条例の一部改正		市51	令和6年度下水道事業会計予算	可決(多数)
市22	火災予防条例の一部改正		市52	和解及び損害賠償の額を定めること	可決(全員)
市23	企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正	可決(多数)	市53	和解及び損害賠償の額を定めること	
市24	令和5年度一般会計補正予算(第12号)		市54	令和5年度一般会計補正予算(第13号)	
市25	令和5年度阿知和地区工業団地造成事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)	市55	市税条例の一部改正	可決(多数)
市26	令和5年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)		市56	令和5年度一般会計補正予算(第14号)	
市27	令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		同1	固定資産評価審査委員会の委員の選任	同意(全員)
市28	令和5年度介護保険特別会計補正予算(第3号)		請願		
市29	令和5年度継続契約集合支払特別会計補正予算(第1号)		請1	小中学校体育館への空調設備設置に関すること	採択(全員)
市30	令和5年度こども発達医療センター特別会計補正予算(第3号)		※採決等の結果が分かれたものの詳細は、次ページの議案の賛否一覧表をご覧ください。		

議案の賛否一覧表

賛成・反対の双方があった議案等について表示しています。(○：賛成、×：反対)

議案	会派名 議員名	自民清風会												民政クラブ						チャレンジ岡崎		公明党		無・共		無所属			議 副												
		磯部 亮次	荻野 秀範	加藤 義幸	酒井 正一	杉浦 久直	鈴木 静男	中根 武彦	野々山 雄一郎	野本 篤	蜂須賀 喜久好	原田 範次	廣重 敦	前田 麗子	築瀬 太	井町 圭孝	加藤 学	加藤 嘉哉	佐藤 哲朗	柴田 敏光	鈴木 英樹	原 紀彦	三宅 健司	青山 晃子	小田 高之	近藤 敏浩	杉山 智騎	土谷 直樹	野島さつき 宣長	畑尻 雅子	鈴木 善明	中根 昌幸	大原 正夫	田口 菜摘	三塩 賢一	柳 賢一	小木曾 智洋	井村 伸幸			
市3、4、13、 16、17、24、 39、40、41、 49、51		○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市11、37		○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	

※会派の名称：議＝議長、副＝副議長、無・共＝無所属・日本共産党

※議長は議決に加わらないため「－」と表示しています。また、欠席者は「／」と表示しています。

採択請願

●小中学校体育館への空調設備設置に関すること

採択とした理由・意見を市長等に送付し、後日、処理の経過と結果の報告を求めることとしました。

議員研修会を開催しました

本市議会では、議員の資質及び政策形成能力の向上を図るため、閉会中の期間を利用して議員研修会を実施しています。

令和5年度は全4回の議員研修会を行いました。

令和5年度議員研修会実施状況

開催日	内 容	講 師
4月28日	個人情報保護制度	名城大学法学部 教授 庄村 勇人 氏
7月27日	「災害ケースマネジメント」から見る 「誰一人取り残さない防災」を目指して	京都府立大学生命環境科学研究科 准教授 荒木 裕子 氏
10月18日	どうする岡崎！家康観光 アフター大河ドラマ戦略	近畿大学経営学部 教授 高橋 一夫 氏
令和6年 1月15日	人口減少岡崎 街づくりすべきこと	一般社団法人人口減少対策総合研究所 理事長 河合 雅司 氏

議員研修会は、どなたでも傍聴できるように公開しています。

6年も研修会開催前に、市議会HPでお知らせいたしますので、興味がありましたら、ぜひお越しください。

事前申込不要

特別委員会		
こどもまんなか社会推進		
1月18日	1 こども施策における国の動向と本市の取組 2 委員会の今後の取組	第3・4委員会室
2月14日	1 子ども・若者支援における本市の取組 2 委員会の今後の取組	第3・4委員会室
岡崎未来まちづくり推進		
1月18日	1 本市の現状 2 委員会の今後の取組	第3・4委員会室
2月14日	1 本市の将来推計人口及び未来投資計画 2 委員会の今後の取組	第3・4委員会室

議会運営委員会		
2月16日	3月定例会の運営等	議会大会議室
2月28日	3月定例会の追加提出議案	議会大会議室
議会広報委員会		
1月5日	1 議会だより第221号の発行 2 意見交換会の開催	第3・4委員会室

文教経済委員会

1月24日 部活動の地域移行 【静岡市】

調査内容

静岡市では、学校規模に左右されず、子どもたちがスポーツや文化活動に親しめる機会を保障するため、地域住民や学校の協力を得ながら、部活動に代わる新たな機会の創出を目指している。「部活動」から新しいブカツ「シズカツ」を展開している静岡市の取り組みについて調査を行った。

委員長所感

国は、休日の部活動を、学校単位から地域単位で実施するよう推進している。静岡市では令和8年度から、平日は学校教育として、休日は地域クラブ活動「シズカツ」を社会教育の一環として行う予定である。課題として、外部指導者と教員の関係などがある。特に音楽は先生の能力や感性が強い部活であり、教員指導者の協力を得ることが難しい。また、外部委託の際、委託先の能力の判断等、選定方法も課題であり、本市もこの課題に直面することは間違いない。



その他の調査事項

1月15日 部活動の地域移行

1月25日 有機農業の取組 【二本松市】

建設環境委員会

1月25日 ごみ処理施設「エコミル」【横須賀市】

調査内容

横須賀ごみ処理施設「エコミル」は、三浦市とのごみ処理広域化に伴い建設した施設で、令和2年3月から稼働を開始している。焼却施設でごみの焼却処理を、不燃ごみ等選別施設で不燃ごみや粗大ごみの破碎選別処理をしており、その取り組みについて調査を行った。

委員長所感

本市が現在進めている広域ごみ処理施設の建設と運営の参考とするため同施設の視察を行った。特に印象的な点は、一部事務組合^{*}による運営よりも地方自治法上の事務の委託を行う方が効率的な側面があるという説明である。事務手続き上、この方式は合意形成のプロセス等が短縮され、事業をスムーズに進捗させる手法である。今後も、より俯瞰的な立場から施策の進捗等を確認していければと考えている。



その他の調査事項

1月24日 ウォークアブルなまちづくり(小山駅周辺のまちづくり)【小山市】

2月2日 岡崎西尾地域広域ごみ処理西尾地区施設の進捗状況

※一部事務組合とは、自治体が行う事務の一部を複数の自治体が共同で行う目的で設立する団体のこと。
地方自治法上の事務の委託とは、事務の一部の管理及び執行を他の自治体に委ねること。

委員会調査報告

(12月定例会終了後～2月)

現在、市議会では五つの常任委員会と二つの特別委員会、議会運営委員会、議会広報委員会を設置しています。

予算決算委員会を除く常任委員会では、閉会中も所管事項に関する調査、市内外への行政視察調査を行っています。今回は、各常任委員会の調査事項をお知らせします。視察調査報告書の詳細は、市議会HPに掲載していますのでご覧ください。



総務企画委員会

1月23日 書かない窓口 【渋谷区】

調査内容

申請書を複数枚記載する手間、階をまたいで移動する手間、待ち時間が長いなどの窓口業務の課題を解決するため、申請書のワンライティングや電子化、電子申請やワンストップ窓口化などにより、住民の手間の解消、利便性の向上及び職員の生産性向上に取り組んでいる渋谷区の調査を行った。

委員長所感

住民サービスの向上を意識した「書かせない」「移動させない」「待たせない」ことを、庁舎の建て替えによるタイミングに合わせて実現させ、1件当たりの待ち時間を平均15分短縮させた。住民は待ち時間が減り、職員も電子化によるペーパーレス化や事務等の負担軽減を図ることができた。本市も書かない窓口を実施予定であり、市民にも職員にも喜ばれるような制度をつくり上げるとともに、更なる市民サービスの向上にも努められたい。



その他の調査事項

- 1月24日 デジタル地域通貨「高崎通貨」【高崎市】
- 2月13日 町内会活動のデジタル化支援

福祉病院委員会

1月22日 おひとりさま支援条例 【大和市】

調査内容

おひとりさまの心身の健康にとって有益な、外出の促進や社会とのつながりを持つよう普及啓発し、「一人になってもひとりぼっちにさせないまち」を行政、市民、事業者が一体となって目指す姿勢を示すべく「おひとりさま支援条例」を制定した大和市の取り組みについて調査を行った。

委員長所感

高齢化は避けられない現実であり、事実を把握し、多方面にわたる対策を実施することが重要である。年齢を重ね、自宅に引きこもり、地域や他者との交流が減ることで、体調への悪影響もあると考えられるが、活動することで、彩りある人生を過ごすことが期待できる。高齢化に対する課題に向き合い、自治体として条例化により明文化することで背中を押すとともに、課題意識に対して取り組む姿勢を本市も見習うべきと考える。



その他の調査事項

- 1月23日 習慣化アプリ「みんなチャレ」を活用したフレイル予防事業 【府中市】

6月定例会予定

6月定例会の
請願・陳情提出締め切りは、

5月17日(金)
17時15分

です。

月	火	水	木	金	土	日
5/27	28	29	30	31	6/1	2
3 開会、 市長提案説明、 議案説明、 一般質問	4 一般質問	5 一般質問	6 一般質問	7 議案質疑、 委員会付託 予算決算委員会	8	9
10	11	12	13 予算決算委員会 分科会・ 常任委員会	14 予算決算委員会 分科会・ 常任委員会	15	16
議案検討						
17	18 予算決算委員会	19 議会運営委員会	20	21 委員長報告、 質疑、討論、 採決、閉会	22	23

○各会議の開催時刻は午前10時の予定ですが、予算決算委員会分科会・常任委員会の開催時刻は午前9時30分の予定（開催順序などは5月21日に決定）です。

6月定例会の日程について

上記の議会日程は予定であり、今後変更する場合があります。
変更する場合は、岡崎市議会ホームページでお知らせいたします。

議会中継について

議会中継は、右の二次元コードからインターネットでご視聴いただけます。



請願と陳情

市政について意見がある時は、請願書や陳情書を市議会に提出することができます。

請願は市議会議員の紹介を必要としますが、陳情の場合はその必要がありません。

市議会では、請願については委員会で審査した後、本会議で採択か不採択を決定し、その結論を請願者へ通知します。採択した請願は、必要と認めた場合、関係機関に処理の結果の報告を求めます。

一方、陳情は委員会で意見を述べるだけで本会議に報告した後、関係機関に意見を付して送付します。また、審査結果を陳情者へ通知します。

請願（陳情）書式例

〇〇〇に関する請願書
(陳情書)

令和 年 月 日

(宛先) 岡崎市議会議員
〇 〇 〇

住 所
代表者氏名

〇〇〇に関する請願(陳情)

1 要旨 何々であるので
何々してください

2 理由

(請願書のみ)

紹介議員
岡崎市議会議員 氏名



表紙の写真



春の暖かな日差しの下、南公園の遊園地では子どもたちが楽しそうに遊具に乗って遊んでいました。南公園は梅林、芝生広場を除いていったん閉園となりますが、令和9年度にはリニューアルオープンを予定しています。どうぞご期待ください。

会派等の連絡先

自 民 清 風 会	☎23-6390
民 政 ク ラ ブ	☎23-6394
チ ャ レ ン ジ 岡 崎	☎23-6364
公 明 党	☎23-6396
無所属	日 本 共 産 党 ☎23-6397
	無 所 属 ☎23-6524
議 会 事 務 局	☎23-6377

議会の日程、請願・陳情などに関する事項は、議事課
(☎23-6971・FAX23-6538)までお問い合わせください。